



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	74,576	3.9	3,903	28.8	3,893	24.6	1,942	29.2
2019年3月期第2四半期	71,752	2.9	3,031	0.2	3,124	0.0	1,503	18.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,245百万円 (24.7%) 2019年3月期第2四半期 1,801百万円 (30.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	68.47	
2019年3月期第2四半期	53.01	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	74,079	40,121	51.4	1,342.33
2019年3月期	70,738	39,578	53.5	1,333.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 38,088百万円 2019年3月期 37,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		60.00	80.00
2020年3月期		22.00			
2020年3月期(予想)				61.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,240	3.3	11,970	8.2	12,000	6.1	6,700	4.4	236.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	30,213,676 株	2019年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,838,346 株	2019年3月期	1,838,256 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	28,375,370 株	2019年3月期2Q	28,370,181 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第2四半期連結累計期間】	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策によって穏やかな回復傾向が見られ、雇用情勢の着実な改善が進むものの、金融資本市場の変動や米中通商問題の悪化懸念などにより、先行きの不透明感が増しています。衣料品小売業界においても女性の社会進出に伴うビジネス衣料の需要拡大やネット通販上の伸長などが見られる一方、不安定な天候要因や2019年10月からの消費増税、年金問題などによって消費者マインドは弱含みとなり、お客様の慎重な購買行動は継続しています。

このような状況の下、当社は2020年3月期の単年度経営方針として「新経営理念を軸に中期最終年度の計画必達」を掲げ、当社グループの体質改善、収益改善、成長基盤の確立に向けた様々な取り組みを実施します。この達成に向け「強い経営基盤の確立」、「実店舗の強みを活かしたECの拡大」、「既存事業のマーケット変化への対応」、「未来の成長に向けた取組の実施」の4つの重点取組課題を定めました。

1. 強い経営基盤の確立

2019年4月に改定した経営理念の徹底推進に向け、全社員参加の理念研修や社長自ら店舗に巡回して理念への思いを共有する理念セッションを継続的に開催し、経営理念の理解浸透を進めています。同時に人事制度の見直し、柔軟な雇用形態の推進、有給休暇取得推進、残業時間の抑制など、従業員が安心して働ける職場環境を整え、強い経営基盤の確立につなげます。間接部門の業務も中長期的なタームで抜本的な見直しを行い、生産性の向上を図ります。

2. 実店舗の強みを活かしたECの拡大

ネット通販については、自社ネット通販サイトの開発遅延に伴う9月12日からのサイト停止はあったものの、他ショッピングサイトへ在庫を配分することで売上を伸ばしました。実店舗においては主に商品管理などの店舗付帯作業を担当するパートタイム労働者の採用を増やし、正社員が接客販売に注力できる体制を整え、販売力を強化しています。当第2四半期連結累計期間の単体既存店売上高前期比は、実店舗は97.9%と前年を下回ったものの、ネット通販は120.7%と増収し、小売+ネット通販合計で103.5%となりました。

3. 既存事業のマーケット変化への対応

トレンドマーケットにおいては質の向上による収益率の改善、ミッドトレンドマーケットにおいては売上規模拡大による収益額の向上、ニュートレンドマーケットにおいては社内構造改革と店舗の効率運営策の実施による収益額の向上を目指し、様々な取り組みを実施します。トレンドマーケットでは店舗特性に応じて事業の枠を越えた品ぞろえを行いお客様ニーズに対応したほか、ウィメンズ新ブランドの展開を開始しています。ミッドトレンドマーケットではビジネス衣料やウィメンズ衣料に特化した小型店舗の出店を行なっています。

4. 未来の成長に向けた取組の実施

台湾においてユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング、コーエンの期間限定店舗やネット通販の出店を継続しておりますが、2019年7月には正式店舗としてコーエンの第一号店をオープンしました。今後も出店の可能性を探りながら、台湾以外のエリアへの進出についても調査、検討します。

出退店では、第一事業本部：4店舗の出店、4店舗の退店、第二事業本部：4店舗の出店、2店舗の退店を実施した結果、当第2四半期連結累計期間末の小売店舗数は213店舗、アウトレットを含む総店舗数は239店舗となりました。

続いて、主な連結子会社の状況として、株式会社フィーゴは、卸売の減収等により減収となったものの、売上総利益率の改善等により増益となりました。出退店では3店舗の退店により、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は17店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン（決算月：1月）は、売上高はほぼ前年同期並みであったものの、宣伝販促費の低減等により増益となりました。出退店では1店舗の出店、2店舗の退店により、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は85店舗となりました。

連結子会社のCHROME HEARTS JP合同会社(決算月:12月)については、新規投入商品が好調に推移したこと等により、増収増益となりました。なお当第2四半期連結累計期間末の店舗数は10店舗です。

また、連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月:1月)の当第2四半期連結累計期間末の店舗数は1店舗の出店により5店舗、連結子会社の株式会社Designs(決算月:1月)の当第2四半期連結累計期間末の店舗数は2店舗の出店により3店舗です。

以上により、グループ全体での新規出店数は12店舗、退店数は11店舗、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は359店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高については、新店出店に伴う増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比3.9%増の74,576百万円となりました。なお、株式会社ユナイテッドアローズにおける小売+ネット通販既存店売上高前期比は103.5%となりました。売上総利益は前年同期比4.3%増の38,521百万円となり、売上総利益率は、前年同期から0.2ポイント改善の51.7%となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比2.1%増の34,617百万円、販売費及び一般管理費率は前年同期から0.8ポイント低減の46.4%となりました。これは株式会社コーエンの宣伝販促費率の低減、株式会社ユナイテッドアローズのネット通販の伸長に伴う売上高人件費率の低減、同じく株式会社ユナイテッドアローズの倉庫家賃や出店一時経費の低減等によるものです。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は3,903百万円(前年同期比28.8%増)、経常利益は3,893百万円(前年同期比24.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,942百万円(前年同期比29.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して3,327百万円(7.5%)増加の47,860百万円となりました。これは、現金及び預金が555百万円、商品が3,133百万円、貯蔵品が580百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が28百万円、未収入金が1,115百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して13百万円(0.1%)増加の26,219百万円となりました。これは、出店、改装などにより、有形固定資産が10百万円、開発中の自社EC(ネット通販)サイトの構築などにより、無形固定資産が515百万円それぞれ増加した一方、繰延税金資産の減少などにより、投資その他の資産が511百万円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して2,590百万円(9.6%)増加の29,672百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,433百万円、短期借入金が4,200百万円、それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,000百万円、未払法人税等が770百万円、賞与引当金が972百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して208百万円(5.1%)増加の4,286百万円となりました。これは、出店などに伴い資産除去債務が209百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して542百万円(1.4%)増加の40,121百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,942百万円増加した一方、配当金の支払により1,702百万円減少したことや、その他の包括利益累計額が19百万円増加したことや、非支配株主持分が282百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね当初計画どおりに推移しており、2019年5月9日発表の業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,103	6,659
受取手形及び売掛金	186	157
商品	24,407	27,541
貯蔵品	581	1,162
未収入金	12,587	11,471
その他	670	872
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	44,533	47,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,195	8,071
機械及び装置（純額）	930	852
その他（純額）	1,747	1,960
有形固定資産合計	10,873	10,884
無形固定資産		
その他	2,783	3,298
無形固定資産合計	2,783	3,298
投資その他の資産		
差入保証金	8,180	8,271
その他	4,389	3,787
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	12,548	12,036
固定資産合計	26,205	26,219
資産合計	70,738	74,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,648	13,082
短期借入金	2,100	6,300
1年内返済予定の長期借入金	1,500	500
未払法人税等	1,673	902
賞与引当金	2,340	1,367
役員賞与引当金	111	51
その他	8,707	7,467
流動負債合計	27,082	29,672
固定負債		
資産除去債務	4,054	4,264
その他	23	22
固定負債合計	4,078	4,286
負債合計	31,160	33,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,278	4,278
利益剰余金	36,335	36,575
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	37,810	38,050
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△8	△1
為替換算調整勘定	27	39
その他の包括利益累計額合計	18	38
非支配株主持分	1,749	2,032
純資産合計	39,578	40,121
負債純資産合計	70,738	74,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	71,752	74,576
売上原価	34,804	36,054
売上総利益	36,947	38,521
販売費及び一般管理費	33,915	34,617
営業利益	3,031	3,903
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	7	-
仕入割引	33	32
受取賃貸料	11	12
受取手数料	24	15
その他	58	40
営業外収益合計	136	101
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	-	15
賃貸費用	11	12
持分法による投資損失	-	44
その他	21	31
営業外費用合計	43	111
経常利益	3,124	3,893
特別損失		
固定資産除却損	56	42
減損損失	281	341
その他	0	0
特別損失合計	338	385
税金等調整前四半期純利益	2,786	3,507
法人税、住民税及び事業税	810	973
法人税等調整額	316	311
法人税等合計	1,126	1,284
四半期純利益	1,659	2,223
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	280
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,503	1,942

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,659	2,223
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	123	10
為替換算調整勘定	18	12
その他の包括利益合計	141	22
四半期包括利益	1,801	2,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,627	1,962
非支配株主に係る四半期包括利益	173	282

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,786	3,507
減価償却費	897	957
無形固定資産償却費	211	221
長期前払費用償却額	84	213
減損損失	281	341
賞与引当金の増減額(△は減少)	△414	△972
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	△60
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	10	8
売上債権の増減額(△は増加)	932	1,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,614	△3,714
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△293	△223
仕入債務の増減額(△は減少)	2,445	2,482
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,836	△831
その他	20	168
小計	2,466	3,265
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△10	△8
法人税等の支払額	△1,254	△1,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201	1,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△2,462	△880
資産除去債務の履行による支出	△81	△83
無形固定資産の取得による支出	△487	△765
長期前払費用の取得による支出	△886	△87
差入保証金の差入による支出	△245	△176
差入保証金の回収による収入	123	85
その他	0	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,045	△1,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,600	4,200
長期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
配当金の支払額	△1,963	△2,225
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,636	974
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188	549
現金及び現金同等物の期首残高	6,300	5,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,112	6,389

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。